

NR800 用設定ソフト

ユーザースマニュアル

Ver 2.0a

日栄インテック株式会社

はじめに

NR800 用設定ソフトは NR800 を設定するためのツールです。

このソフトをインストールしたパソコンに NR800 を USB ポートに接続し、ソフトの設定項目を変更して設定送信のボタンを押すだけで NR800 の設定を変更することができます。

変更は USB キーボードのまま設定変更が可能です。

このソフトウェアにて発生する偶発的、間接的に発生する損害については弊社にて責任は負いかねますのでインストールの際はお客様の責任の元インストールを行って頂けますようお願い致します。

ソフトウェアのインストールは、ユーザー様自身の考慮とリスクで行われ、システムの損傷またはそのような活動から生じるデータの損失についてはユーザー様が単独で責任を負うことに同意するものとします。

システム要件

●Windows7/8/8.1/10 (32bit/64bit)


※Windows7 は 2020 年 1 月 14 日にてサポートが終了致しますのでそれ以降については保証致しかねますのでご了承ください。

●.NET Framework 4.0 以上

目次

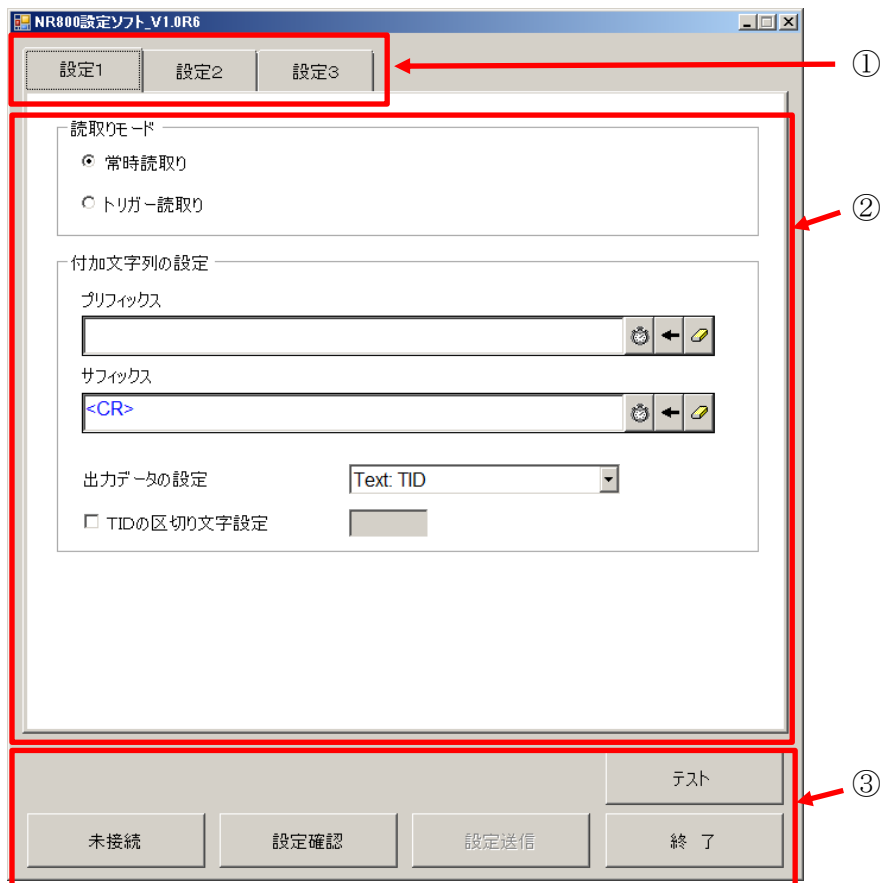
はじめに.....	2
システム要件.....	2
プログラムの起動.....	1
NR800 設定ソフトの使用法.....	1
各タブの詳細設定について.....	2
設定1.....	2
Hardware タブ.....	7
設定3タブ.....	8
決定エリアについて.....	9

プログラムの起動

ダウンロードした『NR800Utility』を解凍し、NR800Utility.exe ( NR800Utility) をダブルクリックしてください。

NR800 設定ソフトの使用法

NR800Utility.exe をダブルクリックすると下図が開きます。



①設定タブ

設定は3つのタブにて分かれています。

設定1：読取り方法、付加文字列や出力データの設定が行えます。

設定2：本体の送信出力、ブザー・バイブのON/OFF設定等が行えます。

設定3：機器IDやタグの読取り間隔時間・出力間隔時間等の設定が行えます。

②設定エリア

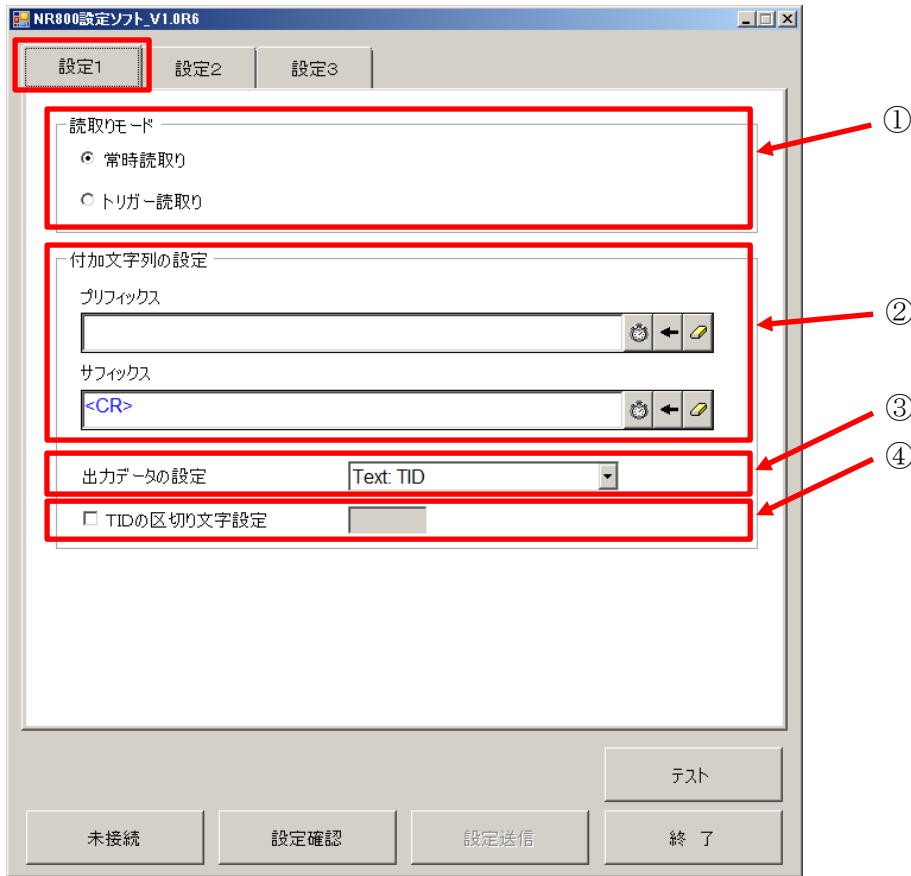
設定したい項目の設定を変更するエリアとなります。

③決定エリア (P9 参照)

本体と接続を確定させたり、設定変更した項目を本体側に送信したりするための決定ボタンが配置されています。

各タブの詳細設定について

設定1



①読取りモード：下記2種類の読取りモードを設定可能です。

- 常時読取り：トリガーを押すことなく常に読み取り状態になります。

※但し、初期状態では同一のタグデータは30秒間読み取りできません。

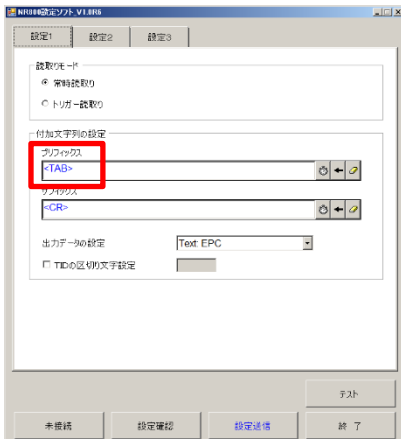
(設定3の二度読み防止時間の設定にて読取り時間の変更が可能です。)

- トリガー読取り：トリガーを押した時のみ読取りが可能です。

②プリフィックス/サフィックスの設定

プリフィックス：読み取ったタグデータの前に付与するものを設定することができます。

(最大：16個)



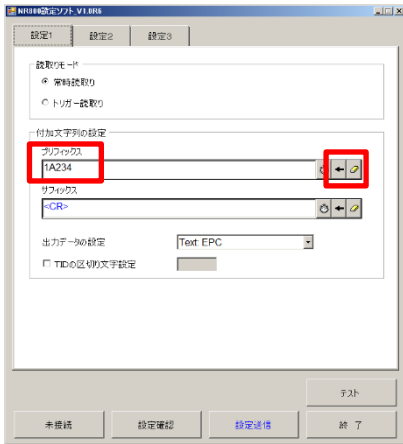
入力はプリフィックス下の空欄部にカーソルを合わせ付加したいものをキーボードで入力することで付加することが可能です。

例：『T a b』を付加したい場合

キーボード上のT a bキーを押してください。

左図のように〈TAB〉が付加されます。

『1A234』を付加したい場合
キーボード上の英数字キーを押してください。
左図のように 1A234 が付加されます



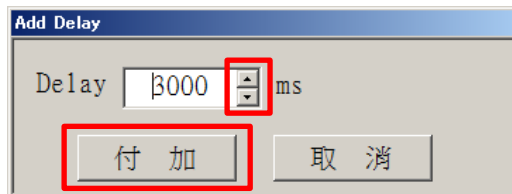
入力するものを間違えた場合は、1文字ずつ消す場合は『 ← 』を一括で消す場合は『 ✎ 』をクリックしてください。

『 ⌚ 』は Delay 時間を付与することができます。

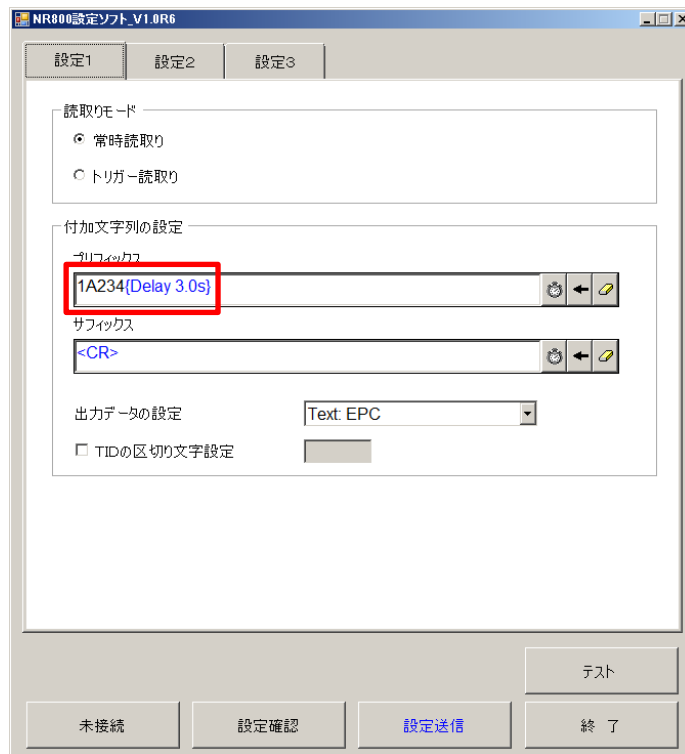
Delay 時間はタグデータを読み取ってからデータ送信を開始する時間を遅らせることができます。

※最大 3000ms (3 秒) まで設定可能です。

設定は下図の ▲▼ で時間を調整し、『付加』クリックでプリフィックスの所に設定が可能です。



例) 3 秒を付加した場合、下図のように表示されます。

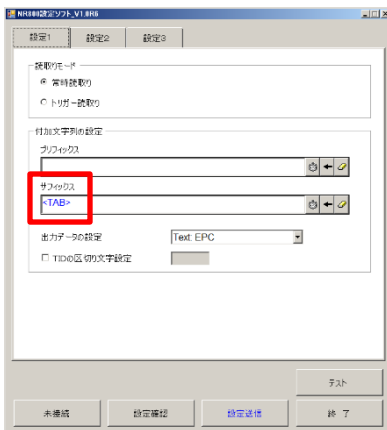


Suffix (サフィックス) : 読み取ったタグデータの後ろに付与するものを設定することができます。(最大 : 16 個)

入力には Prefix 下の空欄部にカーソルを合わせ付加したいものをキーボードで入力することができます。

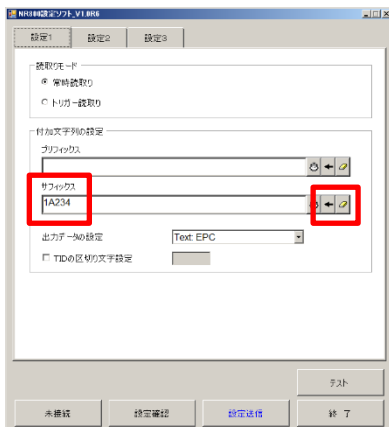
例 : 『T a b』を付加したい場合

キーボード上の T a b キーを押してください。



『1A234』を付加したい場合

キーボード上の英数字キーを押してください。



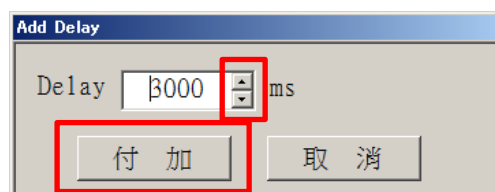
入力するものを間違えた場合は、1文字ずつ消す場合は『←』を一括で消す場合は『✍』をクリックしてください。

『🕒』は Delay 時間を付与することができます。

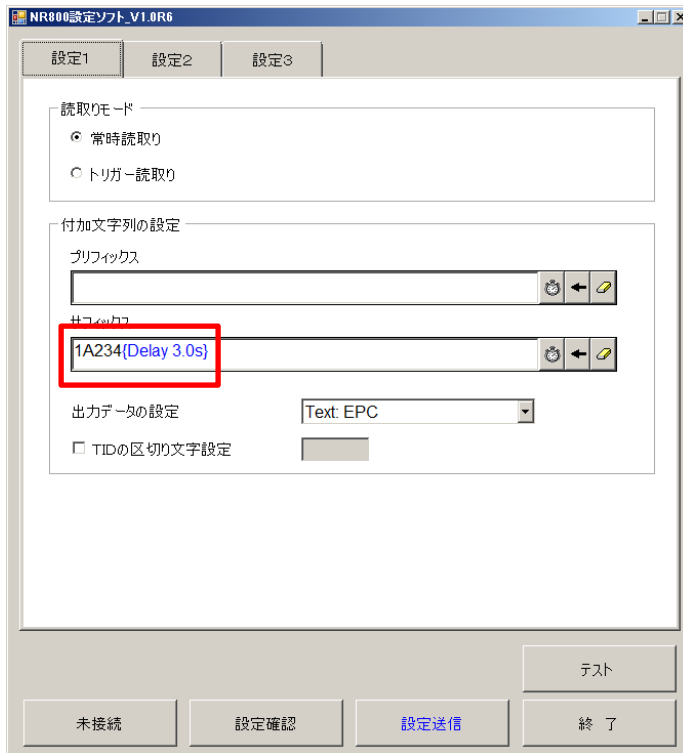
Delay 時間はタグデータを読み取ってからデータ送信後の次のデータを送る時間を遅らせることができます。

※最大 3000ms (3 秒) まで設定可能です。

設定は下図の▲▼で時間を調整し、『付加』クリックでプリフィックスの所に設定が可能です。

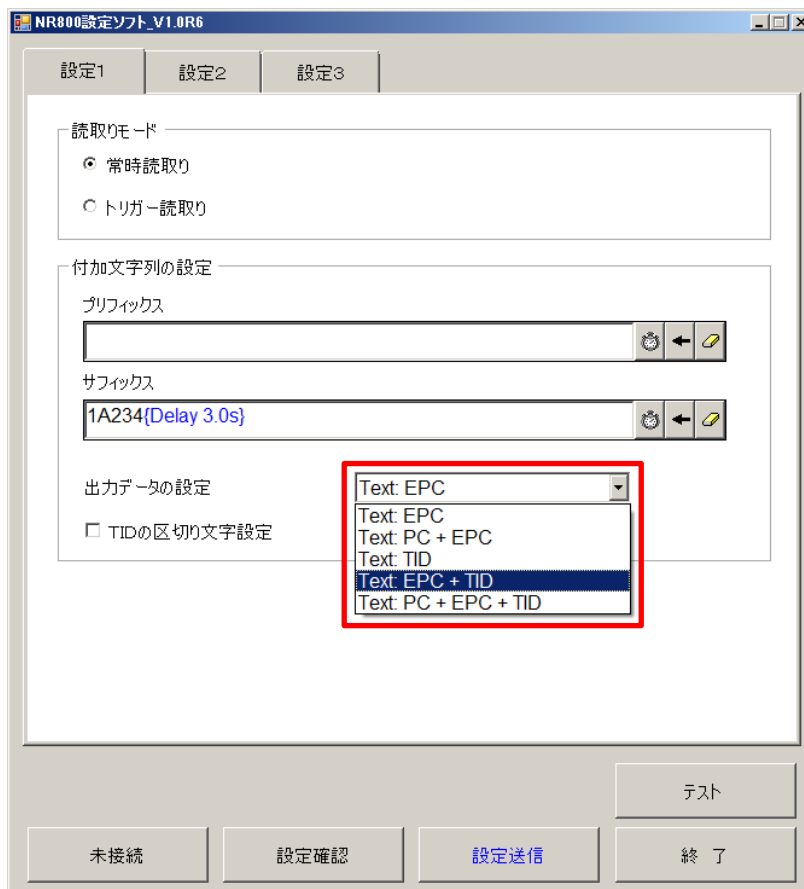


例) 3秒を付加した場合、下図のように表示されます。



③出力データの設定)

データ出力の仕方については下記5つの出力方法が可能です。



- 1) Text : E P C
テキストデータとしてE P Cデータを出力します。
- 2) Text : P C + E P C
テキストデータとしてP C + E P Cデータを出力します。
- 3) Text : T I D
テキストデータとしてT I Dデータを出力します。
- 4) Text : E P C + T I D
テキストデータとしてE P C + T I Dデータを出力します。
- 5) Text : P C + E P C + T I D
テキストデータとしてP C + E P C + T I Dデータを出力します

※E P C (Electronic product code)

T I D (Tag identifier)

P C (Protocol control) の略となります。

④T I Dの区切り文字設定

出力データにTIDが含まれている場合は、『T I Dの区切り文字設定』左のボックスにチェックを入れて右側のボックスに特定の文字を入力することでE P CとT I Dの間に文字を付加することができます。

出力データの設定 Text: EPC + TID

TIDの区切り文字設定 -

※付加した状態で出力するためにはOutput Dataは『Text : E P C + T I D』もしくは『Text : P C + E P C + T I D』に設定してください。

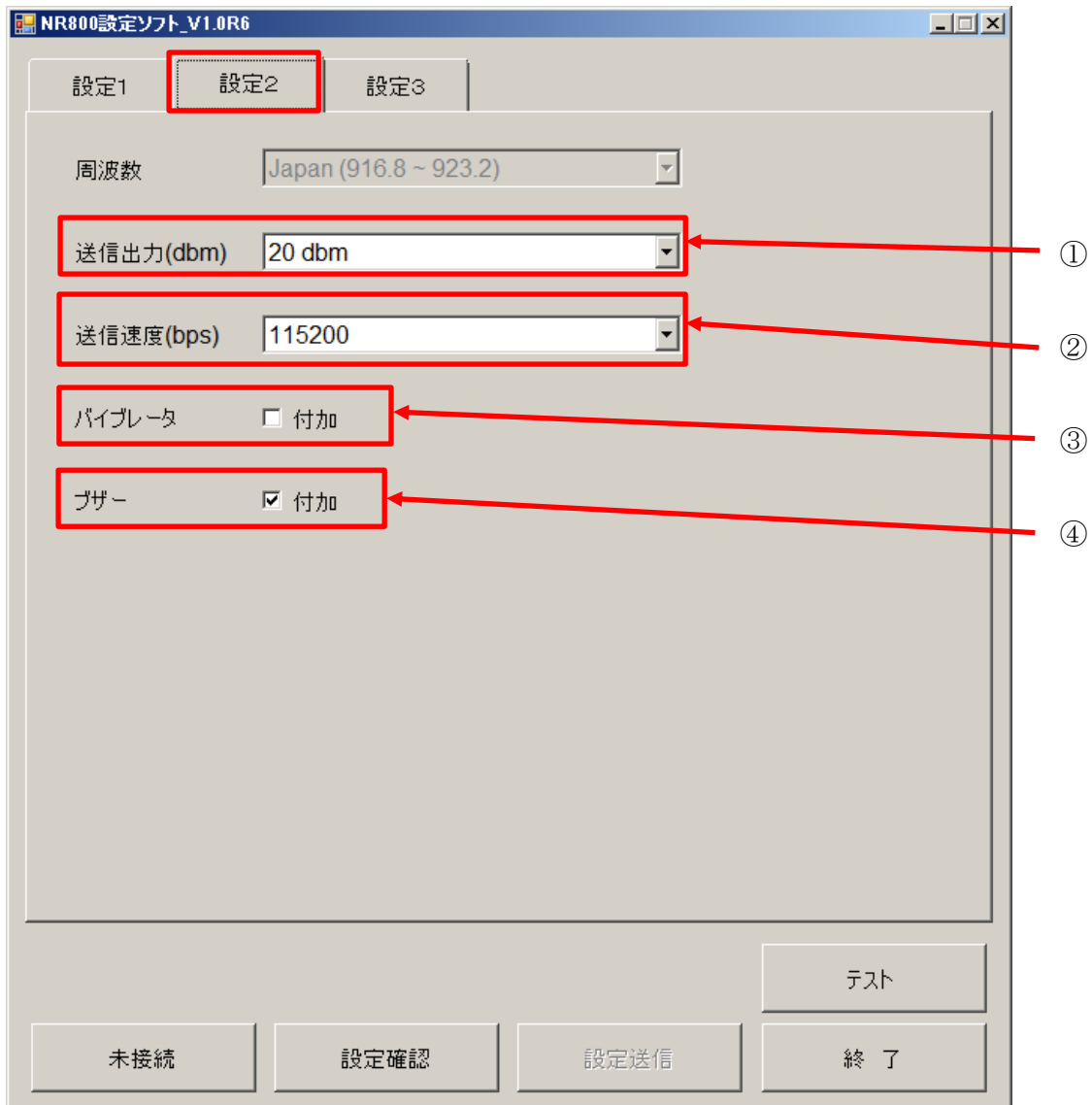
例) E P C : E2003A33D53BCD49349FE3F9

T I D : E200341401160301349FE3F91406010CF00BFFF100009902

で付加文字を『-』にした場合

出力データ : E2003A33D53BCD49349FE3F9-E200341401160301349FE3F91406010CF00BFFF100009902

Hardware タブ



①送信出力

11dbm～20dbm で下図の間隔で設定が可能です。

- 11 dbm
- 12 dbm
- 13 dbm
- 14 dbm
- 15 dbm
- 16 dbm
- 17 dbm
- 18 dbm
- 19 dbm
- 20 dbm

②Baudrate (ボーレート：通信速度)

読み込んだタグのデータを接続先に送る速度を変更することができます。

2400bps～115200bps で下図の間隔で設定が可能です。



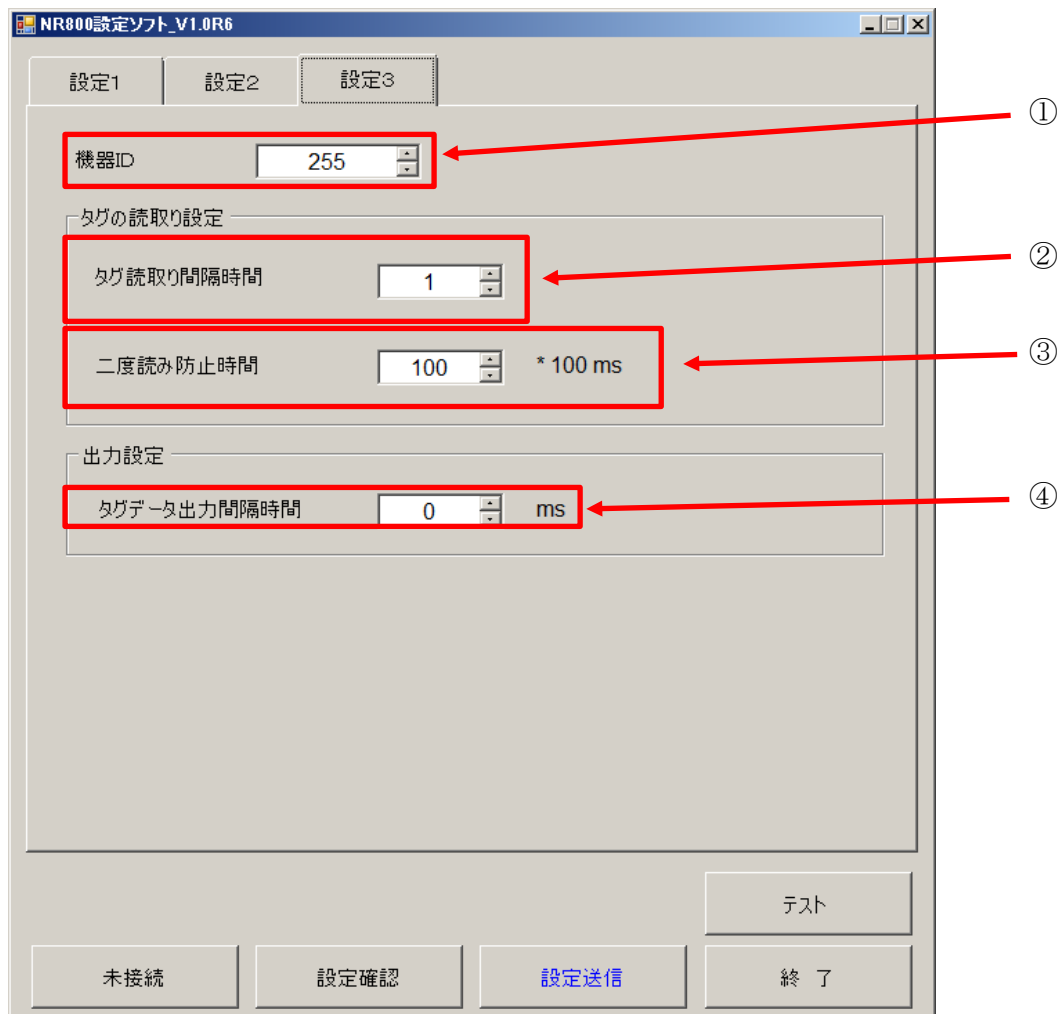
③バイブレータ (初期値：付加しない)

付加の左にチェックを入れて『設定送信』をクリックすることでブザーが鳴動する場面でバイブも一緒に動作します。(ブザーをOFFにしている場合はバイブのみ動作します。)

④ブザー (初期値：付加)

付加の左にチェックを入れなくて『設定送信』をクリックすることでブザーの鳴動をなくすことができます。

設定3タブ



①機器 ID

機器固有の ID を変更することができます。

同じ機器に複数のリーダを繋ぐ場合、ID を変更することでリーダの識別を行うことができます。

②タグ読取り間隔時間の設定

1 つ 1 つ の タグ を 読 み 取 る 間 隔 の 時 間 を 変 更 す る こ と が で き ま す 。

設定可能時間：0～255ms

③二度読み防止時間の設定（初期値：数値×100ms）

同一のタグを再度読み取ることができるまでの時間を設定することができます。

設定可能時間：0～255

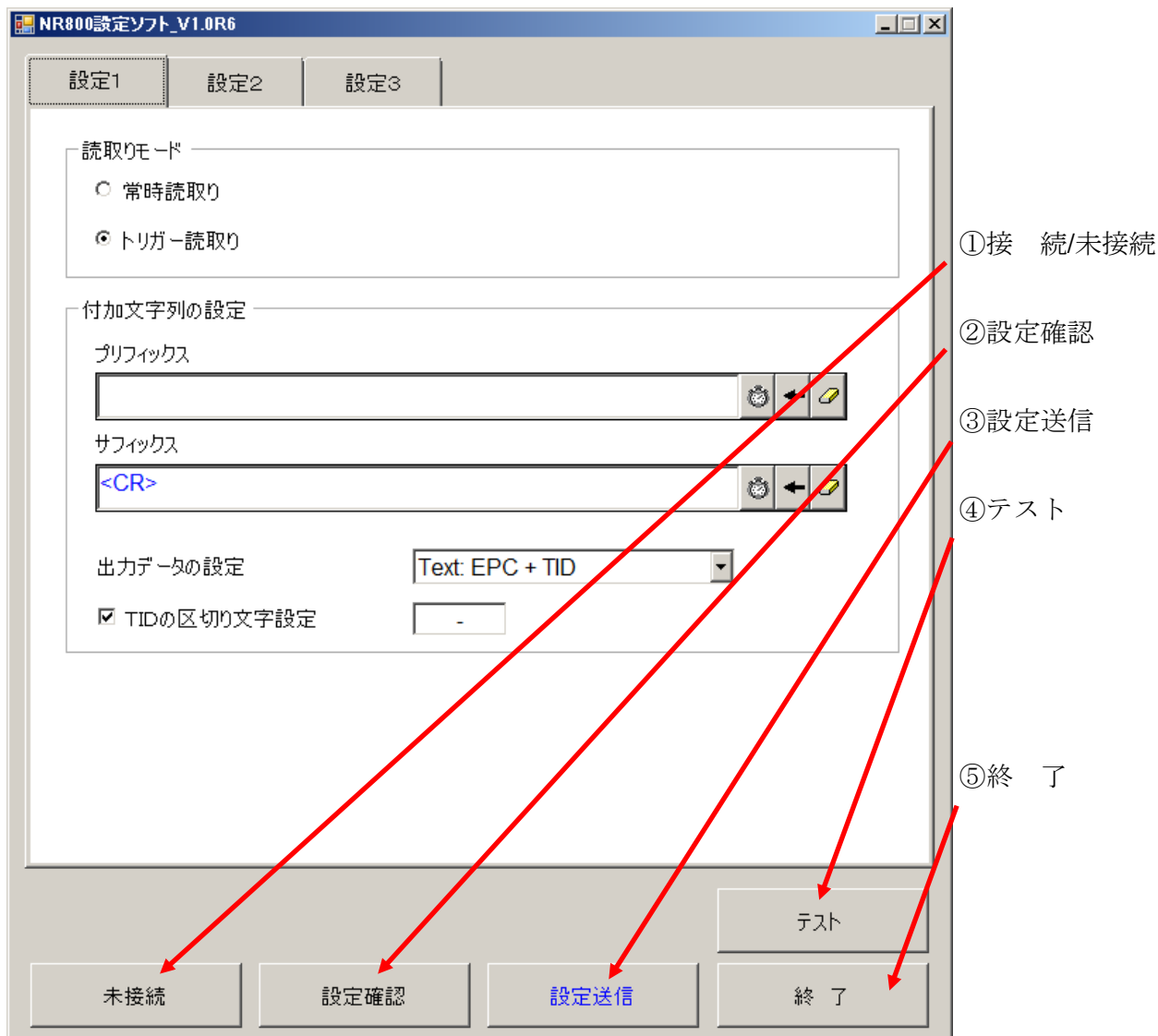
④タグデータ出力間隔時間の設定

1 つ の タグ データ を 出 力 し た 後 に 、 次 の タグ データ を 出 力 開 始 す る ま で の 時 間 を 設 定 す る こ と が で き ま す 。

設定可能時間：0～2540ms

決定エリアについて

決定エリアには5つのボタンがあります。



NR800 を接続しこのボタンを押すことで NR800 の設定変更が可能な状態になります。

(設定変更が可能な状態の時は、『接続』が表示されます。)

②設定確認

このボタンを押すことで繋いでいる機器の設定状態に設定ソフトの表示が切り替わります。

③設定送信ボタン

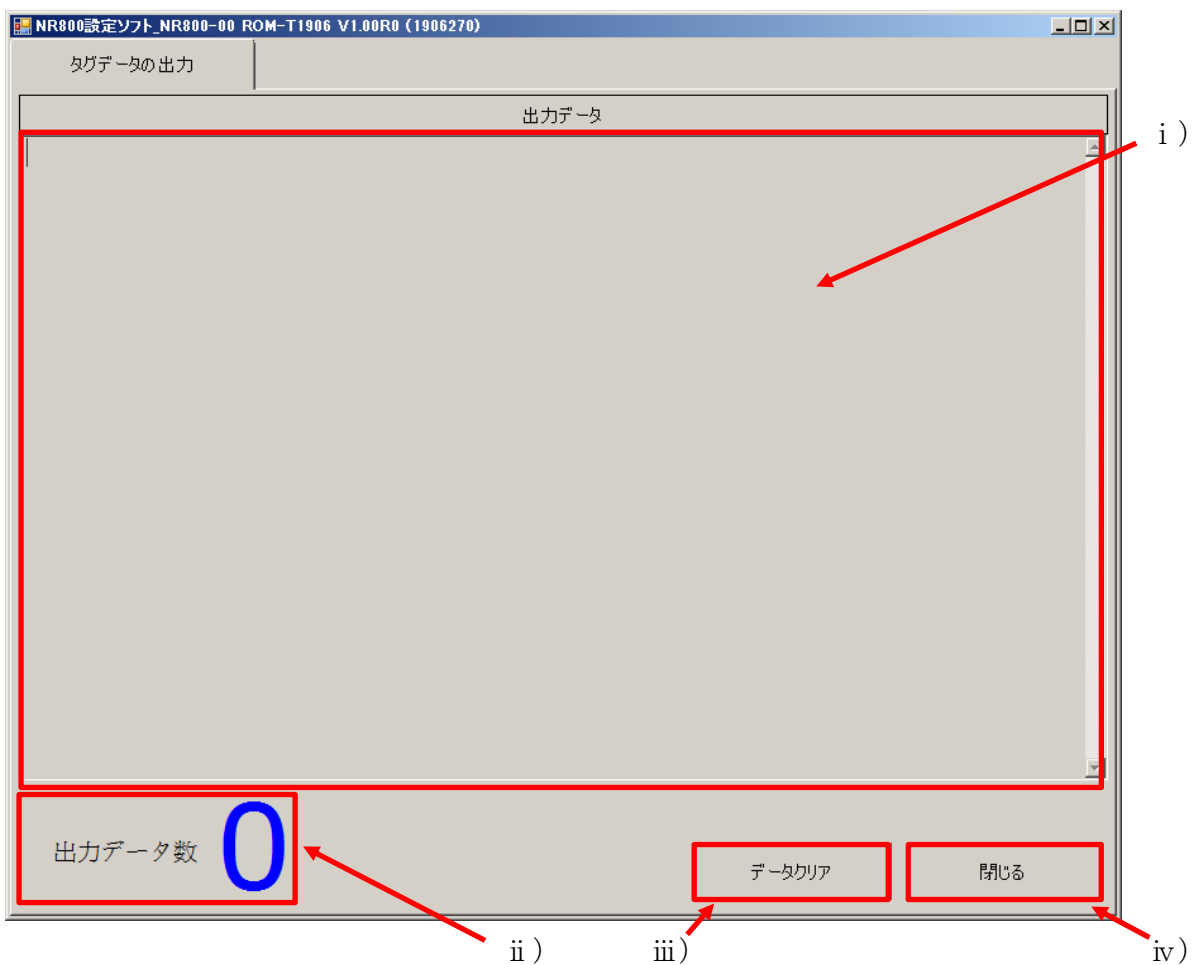
3つのタグ内で設定変更を行うと『設定送信』が青文字になります。

『設定送信』が青文字になっている状態でクリックして頂くと NR800 の設定が変更されます。

④テストボタン

このボタンを押すとテスト画面 (下図) が開きます。

この画面は設定変更した NR800 がどのような動作・出力するかを確認する画面となります。



i) データ出力画面

NR800 に設定した内容で読み込んだタグデータが出力されます。

この画面ではなく、メモ帳等別の場所に出力したい場合はこの状態のままで出力したいソフトを立ち上げて出力したい場所にカーソルを合わせて頂ければそちらに出力することも可能です。

ii) 出力データ数

データ出力画面に出力されたデータ数が表示されています。

iii) データクリア

このボタンを押すとデータ出力画面に出力されたデータを全て削除します。

iv) 閉じる

このボタンを押すとこの画面が閉じます。

⑤終了

このボタンを押すと設定ソフトが閉じます。

注記) 設定ソフトを立ち上げ、テスト画面を開かない状態で NR800 でタグを読んでもデータは出力されませんのでデータを出力させたい場合は、テスト画面を開くか設定ソフトを閉じるようお願い致します。(テスト画面を開いた状態でメモ帳等を開くとテスト画面でなくメモ帳等にデータは出力されます。)

日栄インテック株式会社

総合窓口: info@barcode.ne.jp

営業時間: 9:00~12:00 13:00~18:00 土日祝 除く

バーコード情報サイト **検索** 

www.barcode.ne.jp

2024年12月制定